

事業の効果に関する写真

事業名：ザルカ県ハシミヤ市における青少年のための「職業訓練センター」の設立・運営事業（フェーズ2）（ヨルダン・ハシェミット王国）

事業期間：2011年12月19日～2012年12月18日

報告期間：2011年12月19日～2012年4月30日

1) 職業訓練プログラム

【PCコース】

ICDL、WEBデザインの2クラスからなるPCコースを開講。参加者のレベルを測る事前テストを実施し、授業を開始した。

●第1ターム：2012年1月17日～2012年4月25日



左：ICDL クラスの様子。初日に講師が IT スキル概要を説明し、随時質疑応答を行って実践的なスキルを養った。

右：WEB デザインクラスの様子。丁寧な講師の指導の下、グリーティングカードをデザインした。

【英語コース】

参加者のレベルに沿って初級・中級レベルの2クラスを設置し、文法、会話、ライティング、リーディングを組み合わせ、実践的な能力の向上を目指した英語コースを開講した。

●第1ターム：2012年1月17日～2012年4月24日



左：英語中級クラスの様子。初日に講師からコース内容及び達成目的についての説明がなされた。

右：英語初級クラスの様子。講師が文法の基礎を丁寧に説明し、参加者の基礎力を高めつつ、会話練習・長文読解を取り入れ、総合的な英語力の向上を図った。



左：中級クラスの英語スピーチコンテストの様子。ヨルダンにおける水不足を太陽光発電による地下水の汲み上げで補っている状況について熱心に語った。

右：スピーチコンテストの優秀者を発表し、日本人スタッフ（現地統括松永）が賞状を授与した。

【機械修理コース】

携帯電話修理、PC修理、及び中古バッテリー再生・太陽光発電クラスを開講し、クラス修了が就業に優位になるよう支援した。

●第1ターム：2012年1月19日～2012年7月3日（ただし、中古バッテリー再生・太陽光発電クラスは2012年4月23日から開講）



左：携帯電話修理クラスの様子。携帯電話の修理方法について、講師が参加者一人一人にきめ細かい指導を行った。

右：PC修理クラスの様子。初日に講師がPC修理の概要を説明し、参加者は熱心に耳を傾けた。



中古バッテリー再生・太陽光発電クラスの様子。初日に事前テストを行うとともに、講師がクラスの概要や意義を説明し、参加者は意欲的に聞き入った。

●日本人機械修理専門家によるセミナー（2012年4月8日～2012年4月12日）
日本人バッテリー再生専門家を招いてバッテリー再生技術の指導者養成研修を行った。



左：日本から持ち込まれた機材を前に、日本人バッテリー再生専門家（写真右から二人目）によるバッテリー再生に関する実用的な説明に、参加者一同、真剣に傾聴し積極的な質疑応答が行われた。日本人スタッフ（アドミニ・会計担当月岡、右手前）が通訳を行った。

右：事前にバッテリー再生について学んだ日本人スタッフ（フィールド担当久保、左奥）も日本人バッテリー再生専門家（写真左中央）による指導者養成研修に参加し、参加者への細かい個別のフォローアップを行った。

2) 就業支援プログラム実施

開講クラスに関連した業種において、業務内容や必要とされるスキル、適性等、仕事についての情報を提供する仕事内容説明セミナーを実施した。

a. 企業訪問

【PC コース】



左：通常業務の内容、職場の様子に関して、PCスキルを業務で日常的に使用する担当者とICDLクラス参加者で活発な質疑応答が行われた。（2012年3月18日、Umniah companyにて）

右：通常業務の内容やウェブデザインのやり方について、担当者からWEBデザインクラス参加者に説明があった。参加者は授業で学んだことが職場で活かせることを再確認し、今後のクラスに期待した。日本人スタッフ（現地統括松永、写真左奥）も引率した。（2012年3月14日、Bareed Wared companyにて）

【英語コース】



左：英字新聞記者が、英語中級クラス参加者に対して新聞社内を案内した。(2012年3月15日、The Jordan Timesにて)
右：通常業務の内容、職場の様子及び新聞の読み方について、英語初級クラス参加者に対して丁寧かつ有益な説明を行った。日本人スタッフ（現地統括松永、写真右奥）も引率した。(2012年3月13日、The Jordan Timesにて)

【機械修理コース】



左：携帯修理部門の同年代の担当者が業務内容や職場の様子を説明し、携帯電話修理クラス参加者は現在のクラスが仕事に繋がることを実感した。(2012年2月29日、NOKIA Companyにて)
右：PC修理を実施する担当者が業務内容、PC修理スキルがどのように役立っているかについて語り、PC修理クラス参加者は職場環境等に関心を持って質問をした。(2012年2月25日、Lake companyにて)

b. 就業支援セミナー



左：CARE Internationalの経験豊富な講師から、履歴書の作成方法や面接の受け方について説明を受け、活発な質疑応答を通して参加者は有用な情報を得た。日本人スタッフ（フィールド担当久保、写真右奥）がモニタリングを行った。(2012年3月19～20日)
右：労働省ザルカ局主催のジョブフェアにて、NICCOインターンが職業訓練プログラムの説明を分かりやすく行った。(2012年4月17～18日)

c. 女性エンパワーメントセミナー（2012年4月1日）



左：南シューナ現地 NGO アルジャワースレ代表により、商品開発、収入創出及び社会進出の体験談や成功への鍵が語られた。日本人スタッフ（フィールド担当久保、中央左：アドミニ・会計担当月岡、右奥）も熱い話に聞き入った。

右：日本人スタッフ（現地統括松永、左奥）が最初にアルジャワースレと NICCO との関わりを説明した後、アルジャワースレのメンバーがアクセサリーやかご作りの経験を共有した。

3. 情操教育とリーダーシップ育成プログラム実施

【ストレスマネジメントプログラム】

ストレスに対処し、不安を解消する方法を学ぶ、ストレスマネジメントのワークショップを開講し、就業後も精神的に安定した生活を得られるようサポートを行った。

●第1ターム：2012年1月26日～2012年4月28日



左：絵画を通じた自己表現を行う中で、日本人スタッフ（フィールド担当岡野）も作品を参加者の前で発表した。

右：針金と粘土を用い今までの人生を点と線で自由に表現した。完成後、各参加者が皆の前で発表し、現地スタッフ（セッションファシリテーターHussain）がサポートした。



左：演劇発表会に向け、参加者のアイデアを元に作成した台本の読み合わせを行った。

右：演劇発表会に向け、必要に応じてシーン毎に講師が指導した。



演劇発表会にて感情を的確に表現し迫真の演技を行った。

【リーダーシップ育成プログラム】

参加者の中で特に意欲がある者を対象に、インターン生として、センターの運営や各種ワークショップの企画・実施において責任を担う役割を与えた。

●第1ターム：2012年2月12日～2012年5月11日



左：リーダーシップ育成プログラム参加者に対して、現地スタッフ（プログラムコーディネーターMais）が業務に必要なITスキルを説明した。



右：カウンター業務を担うインターンが来訪者に職業訓練センターやプログラムについて説明し、聞かれた質問に正確に応え責任を持って対応した。